

## SMAジャパン 事務所拡張で 研修ルーム開設

世界最大手PCSメーカーの日本法人であるSMAジャパン(川久保雄司社長)は今夏、本社オフィスを拡張し、新たに設けた2部屋で同社製『Sunny Boy』『Sunny Tripower』『Sunny Central』の住・低圧、高圧向けパワコンに関する施工・メンテ研修などを行う。1セミナーで大型機は6-8名、小型は20名以上対応できる。

同社は12年夏季よりSMAソーラーアカデミーという研修制度をはじめPVの基礎知識から同社製品の取り扱いといった講習を行ってきた。ニーズの高まりから受講者が増え現在月2回のペースで開講しているという。 **S**



## 移 転

### ユアサ商事 本社移転

PVスーパーディーラーの1社であるユアサ商事(佐藤悦郎社長)は8月18日、事業効率化を目的に本社を移転した。新住所は次の通り。 **S**

〒101-8580  
東京都千代田区神田美土代町7番地  
住友不動産神田ビル16階-19階  
TEL 03-6369-1111

### ウィンアイコ・ジャパン 恵比寿にオフィス移転

台湾大手モジュールメーカーの日本法人ウィンアイコ・ジャパン(ロフトトラリンソン社長)は今夏、東京オフィスを移転した。 **S**

〒150-0022  
東京都渋谷区恵比寿南1-1-1  
ヒューマックス恵比寿ビル7階  
TEL 03-5456-5798  
FAX 03-5456-5511

## 英弘精機

### 茨城で15MW着工、斜度検証も実施

## 環

境観測機器メーカーの英弘精機(本社・東京都渋谷区、

長谷川壽一社長)は8月、茨城県稲敷市で計画する1558kWのメガソーラー発電所の建設を開始した。一部傾斜角を変え、発電量の違いを検証する。15年2月に竣工予定とする。

このほど着工する『いなしきソーラーパーク』のEPCは三菱電機が行う。パネル・架台は三菱電機製を採用、単結晶265Wを5880枚導入する。パワコンは東芝三菱電機産業システム製500kW

×2台と250kW×1台を使用する。売電価格は36円/kWh(税抜)で、年間発電量は170万kWhを推定している。敷地面積は約22万㎡を要した。

同発電所では、傾斜角を10度と15度の2種類で設置し、発電量やパネル表面の汚れ等の評価研究を売電事業と併行して行う。さらに13年3月に稼働した同社発電所『あみソ

ラーパーク』と直線距離で約8kWと近接しているため、隣接した地域における気象変化との相関性や短時間に発生する発電量変動の研究にも活用する。 **S**

## 植松建興

### 発電比較試験8メーカー追加、計15社に

## 建

設会社でPV販売・施工も行う植松建興(本社・静岡

岡県沼津市、植松三哉子社長)は、本社屋上で国内外7メーカーの発電量比較試験を行っていたが、8月より8メ

ーカーを追加し、試験のバリエーションも広げた。追加したメーカーはシャープ、スマートパワー、東芝、フジプレアム、インリー・グリーンエナジー、サンテックパワー、サンパワー、ハンファQセルズの計8社。既設の比較試験は異なるメーカーを同条件下で行って

るが、追加システムでは設置環境の比較を目的とし、傾斜角は16度で設計したのもある。同一メーカーの単・多結

晶を比較したり、同一パネルでの傾斜の有無、元旦ビュートイ工業製換気機能付金具

『元旦ウイング』の有無の比較等を行う。試験データは同社HPで毎月公開

しており、本誌定例コーナー『マンスリー発電量』でも毎号連載している。



今回は斜度をつけたシステムもあり。傾斜の有無等の比較も行う

本誌では今号より新設システムの発電データも掲載する(49頁参照)。

植松建興は工事も手掛ける建材商社、植松グループの一社。本体の植松(同社長)は

鉄鋼製品や建材製品メーカーで1949年に創業した老舗企業である。植松建興は工事担当として68年に設立、09年よりPV事業を開始した。住宅用では訪問販売を行わず3

件/月程度のペースで販売、産業用では50件・1MW超の実績を持つ。

PV以外にも環境商材を扱っており、雨水貯水システムや折版屋根用の遮熱システム等を販売している。 **S**